

MotoGP™日本グランプリの開催契約延長について

モビリティリゾートもてぎ（栃木県茂木町）を運営するホンダモビリティランド株式会社（代表取締役社長：斎藤毅）は、FIM MotoGP™世界選手権シリーズのライセンスホルダーであるドルナスポーツ（CEO：カルメロ・エスペレータ氏）との協議のもと、2026年から2030年にかけての5年間、モビリティリゾートもてぎにおけるMotoGP™日本グランプリの開催を継続することに合意いたしました。

なお、2025 FIM MotoGP™世界選手権シリーズ 第17戦 MOTUL日本グランプリは、9月26日（金）～28日（日）に開催いたします。

【ドルナスポーツ CEO：カルメロ・エスペレータ氏】

『日本はMotoGP™にとって重要な存在です。モビリティリゾートもてぎでの日本グランプリは、常に素晴らしいイベントを見せており、大会運営においても開催カレンダーの中で模範的な存在となっています。また、日本のMotoGP™ファンはMotoGP™のことをとても良く知っており、2030年までの開催が決定したことを非常に嬉しく思います。』

【ホンダモビリティランド株式会社 代表取締役社長：斎藤毅】

『2026年以降も、モビリティリゾートもてぎでMotoGP™日本グランプリを継続開催できることを、大変嬉しく思います。日本グランプリの開催意義をご理解いただき、契約延長に向けて力強くご支援くださったカルメロ・エスペレータ氏をはじめ、ドルナスポーツおよびMotoGP™関係者の皆様に心より感謝申し上げます。』

今後も、モーターサイクルスポーツのさらなる発展と持続可能な大会運営を目指し、もてぎの豊かな自然環境を最大限に活かしながら、より多くのファンの皆様にお楽しみいただけるグランプリの実現に取り組んでまいります。栃木県、茨城県、茂木町をはじめとする地域の皆様や行政機関の皆様と連携しながら、魅力ある大会づくりを進めてまいります。』